

「消防署には署の、消防団には団の役割がある」と副団長の小山信夫さん（興野2区・52歳）



黒埼の消防団は志気も高いし、ポンプ操法などは郡大会で優勝してますし、優秀です。でも、難しい問題もあります。団員といってもそれぞれ仕事を持ってます。奉仕活動です。「自分たちの生命と財産は自分たちで守る」ことが基本だとしても、消防署もあります。我々がやらねばならない理由って何でしょうか。消防団には団の、消防署には署の役割があると思います。消防団は団員が住民ですから、地域に溶けこんだ活動ができるし、していきたいのです。それには、地域への愛着や誇りが支えなのですが…。私は30年もやってきました。結局、自分の住んでいる所への恩返しだと思っています。（関連記事11ページ）

# やる気と責任を持って

子供にいい文化を伝えるのが親の役目、とおやこ劇場運営委員の昨山光枝さん（鷹原新地）

黒埼おやこ劇場は、ふだん見る機会の少ない優れた劇や歌を親子で鑑賞する会です。運営は会員からの会費（月700円）でまかなわれています。私は昨年9月から運営委員になり、年間計画を立てたり、催し物を実行したりする立場に。大変ですが、子供たちに喜んでもらえるし、やりがいがあります。「青空の下で思いっきり遊ぼう」とおやこ劇場まつりを5月14日にやりました。河川敷公園でやる計画だったのですが、天気が悪くて今年度は北部地区公民館が会場。河川敷公園は水、火、トイレなどの条件がよくなくて、準備も大変ですが、やっぱり青空の下で思いっきりやりたかったですね。（関連記事11ページ）



あなたと  
町をつなぐ  
広報

# くらさき

1989  
6  
No.309

町の美化のため木場八割育成会はパーベナテネラを植えました、と代表の宗村雪子さん



身近なところは自分たちの手で美しくしようと、私たち木場八割育成会(子供会)では、南米産の花パーベナテネラを植えることにしました。花と緑の会が総合体育館の前にパーベナテネラを植えたとき私も手伝ったのですが、植えたあとを見ていいなと思ったのがきっかけです。手初めに地元の5、6年生と、父母からは役員11人で地元の集落開発センターのまわりに植えました。今日は子供たちも一生懸命やってくれましたね。うまくいったら、道端とか水路沿いにも植えて、花をむらいばいに増やしたいと思っています。これからも子供たちといっしょになって、草取りとかをやっていききたいですね。（関連記事11ページ）

特集／ふるさと創生一億円

私たちは従来のさつきとは一線を画した「さつき盆栽」を目指すさつき盆栽研究会です。

私たち新潟県さつき盆栽研究会（鷲尾末次会長）は、従来の花を主とした園芸的なさつきとは一線を画して、樹の姿も鑑賞できる盆栽的な要素を持った芸術性の高い「さつき盆栽」を目指しています。県内はまだ愛好家が少なく、グループもこの会ぐらいしかありませんが、全国的にはさつきといえば、さつき盆栽が中心です。私たちはさつき盆栽をもっとよく知っていただき鑑賞してほしいと思い、春だけでなく花のない秋も作品展を開いています。発足して8年、会員は15人で指導は石橋健一さん(善久)がしています。興味や関心のある人はぜひご連絡ください。連絡先 ☎377-4059 石橋まで。（関連記事8ページ）

